

事務事業外部評価シート

事務事業名	民有地緑化推進事業	担当課・係	都市整備課 管理係
-------	-----------	-------	-----------

1. 事務事業の概要

事業概要 (具体的な事務事業の活動内容・進め方)	事業目的(働きかける対象は何か？ ・対象をどのような状態にしたいか？)	政策体系(まちづくりの目的・方針)	
市民の緑化意識の高揚と環境緑化を推進するため、苗木配布会を実施する事業である。	市民	基本目標	地域の特色を活かした快適なまちづくり
		政策	住みやすい快適なまちづくり
		施策	快適で質の高い住環境の整備
		基本事業	公園の整備
意図	各家庭に苗木を植えてもらう。	事業期間	
		昭和62年度～	
		根拠法令・条例等	
		緑の募金による森林整備等の推進に関する法律	

2. 事務事業の外部評価

外部評価委員の意見
<ul style="list-style-type: none"> ・民有地緑化の意味合いでは、木を配布し植えてもらい緑化を進めることよりも、手入れのされていない緑地への対応を考えていく必要があると思われる。 ・市内のイベントと連携し苗木を配布しているのであれば、まちづくり団体やNPO等と連携し実施していくことで、より効果的な緑化事業ができるのではないかと思う。 ・緑化推進を図るのであれば、個人に苗木を配布し、それを植えてもらうことで緑化を進めるよりは、緑の基本計画等の計画を策定し、より効果的な運用を図る検討をする必要があると思われる。 ・毎年継続して同じ種類の苗木を植えることで、一斉に同時期に花が咲くというのであれば効果はあると思う。バラバラだと効果も埋もれてしまうと考えられる。 ・今後は県から割り当てられる苗木のみを配布することになるため、消耗品費等はなくなるとのことだが、民間企業やNPOとタイアップすることで、配布に係る人件費も削減の可能性が考えられる。

3. 外部評価委員会としての評価結果

今後の方向性	方向性の内容
事業のやり方改善(成果向上)	・配布方法や樹木の種類、対象を見直すことや、NPO等のノウハウを活用して、より効果的な運用を検討する必要がある。

4. 評価結果を踏まえての市の検討結果

今後の方向性	方向性の内容
事業のやり方改善(コスト削減)	・市での苗木の追加購入は行わず、公益財団法人から無償提供される苗木のみの配布とする。